

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500228	
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査	
調査の名称	水産物流通調査（冷蔵水産物在庫量調査）	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/>	国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/>	月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/>	基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/>	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/>	その他（漁港・港湾背後の冷蔵・冷凍施設整備のためのニーズを月ごとに把握する際の資料、鯨肉の消費量や需給状況を月ごとに把握する際の資料等に活用）
特記事項	令和2年3月分までは水産庁が実査・公表 令和2年4月分からは水産庁が実査、統計部が公表	

点検・評価項目	点検・評価事項等	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
I 調査計画との整合性確保等の観点	1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)	その他 ( )		
	2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 その他 ( ) (特記事項)	調査対象産業		
	3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他 ( ) (特記事項)	抽出方法・抽出基準 対象数の算定		
	4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査期日・期間 (特記事項)	調査事項 その他 ( )		
	5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 民間委託の範囲 (特記事項)	調査系統・組織 その他 ( )		
	6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査の周期 (特記事項)	調査票の提出期限 その他 ( )		
	7 集計事項※	整合	未集計 復元推計 (特記事項)	未公表 その他 ( )		
	8 調査結果の公表の方法及び 期日※	不整合あり	○ 公表実施時期 e-statの掲載 その他 ( ) (特記事項) 本調査は水産物流通調査業務として水産庁が民間委託（市場化テスト）により実施しており、水産庁において民間業者から報告を受けた集計結果について精査したところ、一部の結果に疑義が生じたことから、その確認・再集計に時間を要し、令和2年4月分については、1か月遅れの7月31日の公表となった。	公表媒体 閲覧表	その他	対応中/対応予定 調査計画のとおり、調査実施月の翌月の末日までに公表するために、民間事業者の指導、進捗状況の管理を徹底するとともに、審査・確認等は計画的に行う。
	9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 その他 ( ) (特記事項)	独自基準の説明		
	10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存方法 (特記事項)	保存責任者 その他 ( )		
	11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当	立入検査対象事項 (特記事項)	その他 ( )		
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討（予定）している事項		検討（予定）している事項の有無 (選択記入)	検討（予定）している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		あり	・ 現行の調査対象市区町村を維持するため、選定方法の表現ぶりを適正化。 ・ 調査票回収率を向上させるため、新たな調査方法を追加。 ・ 品目別月末在庫量について、市町村別の集計を廃止。 ・ 東日本大震災に伴う計画の一部変更について記述を削除。	調査計画の変更申請	対応中/対応予定	・ 「抽出する市区町村の冷蔵能力の累積値が全国の50％に達するまで抽出」を「冷凍・冷蔵工場の冷蔵能力の累積値が全国のおおむね7割を占める水産業の振興上特に重要な漁港等を含む54市区町村（消費地14・産地40）を有意抽出する」に変更。 ・ 調査方法に調査員調査と電話調査を追加。また、報告者の負担軽減及び利便性を図るため、調査票情報と同等の情報を調査票に変えて報告できることを明記。

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		達成精度(実績精度)	・ 冷蔵能力が大きい市区町村を、抽出する市区町村の冷蔵能力の累積値が全国の50%に達するまで抽出する。 ・ 抽出した市区町村内に所在する冷凍・冷蔵工場を、その冷蔵能力の累積値が市区町村全体の80%に達するまで抽出する。 ・ 目標とする回収率は設定していないが実績は次のとおり。	総務大臣の承認年月日： 平成22年 2 月25日	8 月 回収率 89.3%	7 月 回収率 88.9%	6 月 回収率 89.3%
		○ 回収率・回答率					
		回収標本数					
		○ カバレッジ					
		その他					
		設定なし					